

茨城県立歴史館の郷土学習支援事業（出前講座）テーマ一覧〈令和7年度版〉

当館では講師派遣事業（出前講座）を実施しています。講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。

※企画展・特別展開催前後は受け入れが難しい場合がございます

	タイトル・テーマ名	具体的な内容	担当者
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉づくりを体験します。 材料費(1個400円)がかかります	教育普及課 主任研究員 小茂田晃俊
2	水戸藩における 尊王攘夷運動の特質	幕末期の水戸藩における尊王攘夷運動の意義について、その形成過程をとおして考えます。その中で、御三家の一つに位置づけられ、運動の理論的支柱となる尊王攘夷思想を育んだ同藩の特質を浮かび上がらせます。	学芸課 学芸課長 由波 俊幸
3	徳川慶喜	水戸藩主徳川斉昭の子として生まれ、江戸幕府の15代将軍となった徳川慶喜。本講座では、その生涯にわたり政治行動を大きく規定することになった血脈や、朝廷や幕府、そして水戸藩との関わりをもとに、「最後の将軍」の実像に迫ります。	学芸課 学芸課長 由波 俊幸
4	古代常陸国の役所と寺院	律令制の整備が進み奈良・平安時代、全国で役所や寺院が作られます。県内では石岡市にある国府・国分寺をはじめ、各地で群の役所や寺院が造営されました。それらの遺跡の発掘調査成果を紹介しながら、地域の中心となった役所と寺院の特徴を解説します。	学芸課 副主任学芸員 皆川 貴之
5	常陸の古墳	東国第2位の規模を誇る石岡市舟塚山古墳をはじめ、県内には多くの古墳が築かれました。古代首長の墓であり時代の象徴ともなった古墳について、その性格や位置づけについて紹介します。	学芸課 資料調査専門員 小澤 重雄
6	雪村	茨城県北部に生まれた戦国時代の水墨画家・雪村について、その生涯を紹介しつつ、彼が描いた作品の見方について解説していきます。	学芸課 学芸員 蒔 政人
7	鯀絵と鹿島信仰	幕末期、安政の大地震後に江戸で大流行した鯀絵と茨城の関係、そこに描かれているもののおもしろさを解説します。	学芸課 学芸員 森戸日咲子
8	幕末水戸藩の奥女中・ 沢宣子「衣手日記」を読む	安政6年、徳川斉昭夫人・登美宮吉子が江戸から水戸に下向した際、随行した奥女中・沢宣子が記した旅日記が「衣手日記」です。 水戸道中の様子、奥女中の意識と行動などを読み解きます。	学芸課 首席研究員 長谷川 良子
9	水戸藩の育子策と 間引き教諭書	近世後期の農村復興策の中心課題であった人口政策。水戸藩6代藩主徳川治保の治世に本格化した育子策、および間引き(子返し)をいましめる教諭書の広がりについて紹介し、当時の子育てをめぐる価値観を探っていきます。	学芸課 首席研究員 廣瀬 昌子

10	奥女中のみた 幕末の水戸藩	水戸藩第九代藩主斉昭の正室吉子に奥女中として仕えた西宮秀が晩年に書いた回想録『落葉の日記』。そこに書かれた奥向きからみた幕末の水戸藩を紹介します。	歴史資料課 歴史資料課長 笹目 礼子
11	近世後期における常総地域の 学者間ネットワーク —色川三中、長島尉信、 宮本茶村を中心に—	従来あまり知られていなかった常総地域の民間学者たちにスポットをあて、彼らによる史料収集および編さん活動をひも解いていきます。	歴史資料課 首席研究員 山縣 創明
12	一橋徳川家の近代 —宗敬・幹子夫妻—	一橋徳川家 12 世当主宗敬と幹子について、史料を読みながらご紹介します。	歴史資料課 主任学芸員 武子 裕美
13	古文書講座 —くずし字を読むための はじめの一歩—	江戸時代によく使われる名前や数字のくずし字を、名簿や検地帳から学びます。	歴史資料課 主任学芸員 武子 裕美
14	江戸時代の通行証 「往来一札」を読み解く	旅の目的や身分を証明し、各地の関所を通るために欠かせなかった「往来一札」について、資料をもとにその内容や制度について学びます。	歴史資料課 研究員 沼澤 佳子
15	茨城の鉄道史、あれこれ	本講座では、茨城の鉄道の歴史について概説します。資料をもとに、駅や列車の移り変わりを紹介します。 今年度の募集は終了しました	行政資料課 資料調査専門員 富田 任

【活用の方法について】

① お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

なお、お申し込みは、実施日の1か月前までをお願いします。

② 経費

交通費（旅費）の負担をお願いします。（講師謝礼等は必要ありません）

③ その他

出前講座は、原則公民館等の公的団体のみの受付となります。

講座担当者の展示作業、調査などのため、希望日の調整ができない場合があります。

問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課

〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15

電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp